

関西社会福祉学会ニュースレター

2013年度 第2号

2013年度 関西社会福祉学会

年次大会の開催にあたって

開催校ご挨拶

神戸親和女子大学発達教育学部福祉臨床学科
通信教育部長・学科長 成清 美治

2014年3月2(日)に神戸親和女子大学にて「2013年度関西社会福祉学会年次大会」を開催することになりました。開催校を代表してご挨拶を申し上げます。

今年度のテーマは「社会保障制度『改革』と福祉専門職—その役割と課題を問う」です。2012年8月に「社会保障と税の一体改革関連8法」(民主党・自由民主党・公明党の3党合意)が成立しました。

成立した法律は①消費税関連2法:「消費税法改正」「地方税・地方交付税改正法」、②こども・子育て関連3法:「子ども・子育て支援法」「同関係法律整備法」「認定こども園法改正」、③年金関連2法:「年金機能強化法」「被用者年金一元法」、④「社会保障制度改革推進法」の8法となっています。

これを受けて、社会保障制度改革国民会議が「報告書」(2013年8月)を政府に提出しました。同報告書の基本的考え方は(1)自助・共助・公助の最適な組み合わせ、(2)社会保障の機能の充実と給付の重点化・効率化、負担の増大の抑制、(3)社会保険方式の意義、税と社会保険料の役割分担、(4)給付と負担の両面にわたる世代間の公平、等となっています。

今年度の関西社会福祉学会大会では、現在、政府が推進しようとしている社会保障制度の『改革』が、今後の福祉の在り方にどのように影響を及ぼすかを明らかにすると同時に児童福祉、障がい(児)者福祉、高齢者福祉等の分野における福祉専門職の役割と課題について検討します。

今大会の基調講演は、「社会保障制度改革と高齢者福祉ケアサービス—日本とデンマークとの比較研究—」について本学教授の成清美治氏が行います。

また、シンポジウムについては、「社会保障制度『改革』と福祉専門職の役割と課題」のテーマのもとで、コーディネーターを加納光子氏(武庫川女子大学)、

シンポジストを児童福祉:小野尚香(神戸親和女子大学)、高齢者福祉:小林浩司(尼崎喜楽苑施設長)、障がい児・者福祉:藤原伸夫(神戸市役所)の皆さんにお願いして、議論を進めていただきたいと思います。企画・運営に関して、不行き届きな面が多々あると思いますが、多くの学会会員の皆様のご参集を期待するとともに大会開催校として精一杯努力を致す所存でございますので、何卒ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

2013年度 関西社会福祉学会年次大会・

日本社会福祉学会関西地域ブロック総会案内

標記の大会・総会を下記のとおり開催します。会員の皆様におかれましては、ふるってご参加くださいますようご案内申し上げます。

◇テーマ:「社会保障制度『改革』と福祉専門職—その役割と課題を問う」

◇大会校:神戸親和女子大学

◇日時:2014年3月2日(日)10:30-17:30

◇アクセス:神鉄鈴蘭台から徒歩10分です。

〒651-1111 神戸市北区鈴蘭台北町7丁目13-1

※駐車場はありません

◇参加費:無料

◇プログラム

・10:00- 受付開始

(場所:神戸親和女子大学4号館421(2F)教室前)

・10:30-12:30 自由研究発表(場所:4演2、411教室、412教室)

・12:30-13:15 昼食休憩(昼食は各自でご用意いただくか、コンビニをご利用ください。なお昼食は411教室でお取りください。)

・13:15-14:15 年次総会(場所:4号館421教室)

・14:15-14:25 主催者挨拶:関西社会福祉学会会長(岡本民夫)

開催校挨拶:親和学園理事長(山根耕平)

・14:25-15:55 基調講演「社会保障制度改革と高齢者福祉ケアサービス—日本とデンマークとの比較研究」成清美治(場所:421教室)

・15:55-16:00 休憩

・16:00-17:30 シンポジウム

「社会保障制度『改革』と福祉専門職の役割と課題」(場所:421教室)

シンポジスト(児童福祉):小野尚香(神戸親和女子

大学)

シンポジスト (高齢者福祉) : 小林浩司 (尼崎喜楽苑施設長)

シンポジスト (障がい児・者福祉) : 藤原伸夫 (神戸市役所)

コーディネーター : 加納光子 (武庫川女子大学)

・17:40-19:00 懇親会 (場所: 学生会館2F学生食堂)・参加費 2000 円 (当日受けにてお支払ください)

◇申し込み方法

参加ご希望の方は2/12(水)までに同封の申し込み用紙裏面に必要事項をご記入の上、faxにて下記までお申込みください。申し込み用紙は、日本社会福祉学会のホームページ内、地域ブロック (関西) のページに掲載しておりますのでダウンロードしていただけます。(http://www.jssw.jp/district/kansai.html) 会場・配布資料等の準備のため事前申し込みのご協力をお願いいたします。

◇問い合わせ・申し込み

神戸親和女子大学発達教育学部福祉臨床学科成清美治
FAX : 078-591-1698
TEL : 078-591-1694

自由研究発表の募集

1. 申し込みの締め切りについて

発表を希望される方は、メールにて、2014年2月3日(月)までに、「関西社会福祉学会自由研究発表申し込み」と表題をつけ、発表テーマ(主題)、氏名、所属、連絡先(メールアドレス及び電話番号)、必要な機器(パソコンなど)を必ずお書きのうえ、下記の宛先までメールにて申し込んでください。(なお、お申し込み後1週間以内にメールにて受付確認の返信をいたします。連絡のない場合はお問い合わせください。)

※パソコンはWindowsのみの対応となります。パワーポイントは2007までのバージョンで作成してください。

2. 自由研究発表申し込みの宛先

関西大学人間健康学部 山縣研究室

E-mail : fyama@kansai-u.ac.jp

3. 自由研究発表要旨と資料について

自由研究発表要旨を次の要領に従い、2014年2月14日(金)までに下記の宛先まで、メールもしくは郵送にて送付してください。

・メールの場合(件名に「自由研究発表要旨」と記載してください)

E-mail : fyama@kansai-u.ac.jp (山縣研究室)

・郵送の場合(封筒に「自由研究発表要旨」と記載し

てください)

〒590-8515

大阪府堺市堺区香ヶ丘町1丁11番1号
関西大学人間健康学部 山縣研究室 宛

・発表要旨は、ワードまたは一太郎で作成いただき、文書とPDF文書(レイアウトの確認のため)の2つをお送りください。PDF文書の作成が困難な場合、ワードのみでも結構です。

<自由研究発表要旨の様式>

(1)用紙サイズ・枚数: 1発表につきA4版2ページまで横書き

(2)余白: 上下左右25mm(目安)

(3)フォント

・主題-12ポイントゴシック

・副題-10.5ポイントゴシック

・所属-9ポイント明朝 氏名-10ポイント明朝

・会員番号-9ポイント明朝

・キーワード-9ポイント明朝

※以上を用紙の上側に罫線で囲んで記載してください。

見出し-10ポイントゴシック

本文-9ポイント明朝 1行48~50字程度

(4)自由研究発表要旨と資料について

提出いただいた自由研究発表要旨は、当日の大会・総会資料と一緒に綴じ込み配布いたします。

発表場所と時間は後日メールにてお知らせいたします。なお、当日配布資料については、各自印刷の上、30部を持参してください。

(関西大学 山縣文治・佛教大学 所 めぐみ)

第30回若手研究者・院生情報交換会 案内

テーマ: 地域福祉の展開

近年「地域福祉の主流化」が叫ばれているが、地域社会は様々な特徴と個性を保有している。そのためそれぞれの地域の実践活動を地道に積み上げられていくことが重要である。いわば草の根的实践・研究活動が基本であり、それらの系統的集積が今後の方向を示唆することになる。特に若手研究者や大学院生はこうした先駆的な実践研究活動の中に大いに学ぶべきものがあると考えられる。多くの方々の参加を歓迎したい。

日時: 2014年2月15日(土) 14:00~17:00

※ 受付開始: 13:00

※ 終了後、18:00から西宮北口付近で懇親会の開催を予定しています

報告1: 「過疎地域の再生とその先にあるもの 一住民

自治と内発的発展のコミュニティワークの提案一

橋川健祐氏 (日本福祉大学大学院)

報告2: 「地域福祉におけるコミュニティ・ビジネスとその展望」

柴田学氏 (川崎医療福祉大学)

コメンテーター: 牧里毎治氏 (関西学院大学)

コーディネーター: 竹内友章氏 (関西学院大学大学院)

場 所: 関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス G号館 302 教室

(兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155)

参加申し込み: antonkun@human.ryukoku.ac.jp (阪口春彦) 宛に、①お名前、②ご所属、③懇親会参加の有無をご記入のうえ、2014年2月13日(木)までにお申込みください。情報交換会の参加費は無料です。懇親会の参加費は2,500円程度を予定しています。

第28回若手研究者・院生情報交換会報告

2013年10月20日、京都市地域・多文化交流ネットワークサロンにて「社会福祉と多文化社会」をテーマに第28回若手研究者・院生情報交換会を開催した。まず、マーサ・メンセンディーク先生(同志社大学)から「京都に暮らす外国籍住民の困難に寄り添う」とのタイトルでお話いただいた。最初に学ばれた現場としてハワイを紹介され、多民族化・多文化化が進むアメリカ、特に白人が26%であるハワイでは多文化理解のある専門職養成において Diversity (多様性)、Anti-discrimination (反差別)、Empowerment (エンパワメント)、Strengths (ストレンクス) の4つの視点が大変重要とされていることを指摘した。日本においてはエンパワメント、ストレンクスの2つの視点は着眼できているが、多様性の尊重や反差別について大変課題があるとした。特に外国人DV被害者が抱える問題の背景には外国人女性が在留資格維持のためにパワーが奪われ、日本人男性のコントロール下におかれてしまうこと、時には通訳から二次被害をうけたり同じ施設の日本人利用者との間で摩擦がおきてしまうなどについても言及した。

次に石川(大阪人間科学大学)からは「在日コリアン集住地に学ぶ」とのタイトルで、会場ともなった東九条地域で12年間つづけてきた研究経過の実例をも

とに外国人集住地を研究することのむずかしさを報告した。集住地でキーパーソンとなる当事者、支援者、地域住民といったインフォーマントとどのように出会い関係を築いていくのか、当事者でも住民でもない謎の存在である研究者の立ち位置はなんであるのか、そして研究者が地域や社会に対して果たす役割などについて報告をおこなった。

参加者との質疑応答では日本社会の中で抱えている具体的な課題が明らかになっている外国人住民グループは限られており、問題状況をどのようにキャッチしていくのか、また各地で始まっている実践を捉え、分析していく研究が非常に少ないのではないかと、今後このような事例についての検討を積み重ねていく必要があるのではないかと議論がなされた。

石川久仁子(大阪人間科学大学)

機関誌「関西社会福祉学」(仮称)を

刊行します!

投稿論文を募集します!

関西社会福祉学会・日本社会福祉学会関西地域ブロックでは機関誌を2014年度に発行すべく、現在、「機関誌発行準備委員会」で検討を進めています。日本社会福祉学会は、年間4回機関誌を出しています。また関西を除く地方ブロックでは、それぞれに機関誌を持っています。これまで関西は、若手研究者・院生情報交換会など独自の取り組みをしてきました。しかし関西の社会福祉学のより一層の発展のため、また、特に若手研究者の発表の機会をつくるために、関西でも機関誌を刊行することにしました。構成としては投稿論文の他に、関西での研究活動を紹介したり、社会福祉研究を担ってきた方々にインタビューをしたりするなど特色ある内容にしたいと考えています。2014年3月に開催される総会での承認によって正式に発刊が決定することになります。

また発行が決定した後、来春より投稿論文を募集致します。査読付きとなりますので、各会員はもちろんのこと若手研究者等にも呼び掛けて投稿の準備を促していただき、多くの論文が集まるように今から、ご協力をお願いします。

(小野 達也)

B会員会費納入のお願い

日本社会福祉学会の関西地域ブロックの方は自動的に関西社会福祉学会の会員（A会員）となり、会費は日本社会福祉学会からの還元金を当てることとなります。

一方、日本社会福祉学会の関西地域ブロック会員でない方、日本社会福祉学会の会員ではないが関西社会福祉学会の会員である方（B会員）の年会費は2,000円です。従って、B会員の方で、本年度（2013年度）会費2,000円を未納の方は、納入していただくようお願いいたします。会費納入が3年間ない方については、B会員を退会したものと扱わせていただきます。

なお、B会員の方で、日本社会福祉学会関西地域ブロックの会員になられた方は、お手数ですが事務局までご連絡ください。

B会員会費納入方法の変更について

B会員の方には別途、会費納入の依頼文書をお送りしております。指定の銀行口座に年会費（2,000円）を納入していただきますようお願いいたします。その際には、ご利用の個人名義口座から学会名義口座への振り込みをしていただくと、振込者の氏名が学会通帳に記帳され、こちらの確認作業が容易になり助かります。なお、振込手数料につきましては、各自でご負担いただきますようお願い申し上げます。

金融機関 三菱東京UFJ銀行

支店 大阪営業部

口座名義 関西社会福祉学会

口座番号 4530873

(野村恭代)

機関紙担当から

今年度第2号を発行いたします。

三月の「大会」にふるって参加下さいますようお願い申し上げます。

(小山 隆)

関西社会福祉学会ニュースレター 第2号

発行日 2013年12月20日

発行者 会長 岡本民夫

関西社会福祉学会

事務局 桃山学院大学

〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1

桃山学院大学社会福祉実習指導室（川井）気付

電話：0725-54-3131（内線2636）

FAX：0725-54-3289